

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671300236
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム 百合砂
所在地	鹿児島県西之表市西之表6095番地 (電話) 0997-22-1330
自己評価作成日	平成29年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との関わりを深める為、地域の諸行事等に積極的に参加したり、ドライブ等を行い馴染みの場所や初見の場所に出向いたりして、楽しみが感じられるようなグループホームを目指しています。  
又、入居者と職員が常に笑顔で過ごせる雰囲気作りに努め、ご家族とも普段から何でも話し合える関係作りに努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホーム内は和やかな雰囲気、職員・利用者とのコミュニケーションも良く、「一人ひとりその人らしく！」の理念を基に個性を大切に支援している。
- ・介護職としての専門性が高く、個々の自立を促し、介護過多にならないよう尊厳を重視しながら日々のケアに努めている。
- ・隣接する特別養護老人ホームとの連携や協力体制が充実しており、地域との繋がりも強い。百合砂祭りには地域内外から多くの方が訪れ、積極的な交流を図っている。
- ・職員間の関係性も良好で、勤務変更や休日の希望等、お互い様の気持ちを大切にしている。職員自身の資格取得やスキルアップに対する意欲も高い。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者・職員で理念を共有し、理念に基づいた支援ができるよう勤めています。	理念は職員と利用者が一緒に作成したもので、玄関やホールの目につきやすい場所に掲示している。ミーティング時や日常のケアの中で意識付けをしている。理念に基づいた自己評価をしたり、理念を意識して月間目標を掲げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事と一緒に参加したり、普段の散歩の途中でも地域の方々とお会した時にも気軽に声を掛けて交流が図れるよう支援していきたいと思います	近所を散歩して話しかけたり話しかけられたりしている。地域の方の訪問が多く、差し入れ等もあり、地域との付き合いも充実している。百合砂祭りや敬老会などで沢山の方が訪れ交流を図っている。中学生や高校生のボランティアも受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議にて、市職員や地域の方と認知症について話し合う機会をもち市内の認知症サポーターの状況等把握し、共同団体との交流を図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、入居者の状態や運営の状況を報告し、委員の方から意見を頂きながらサービス向上に活かしています。	定期的に運営推進会議を行い、外部評価の報告や事業所の活動報告・利用者の状況・事故・ヒヤリハットなどを報告し意見交換を行い、サービス向上につなげている。	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	運営推進会議委員に市職員の方にも参加していただき、アドバイスなどを頂きながら協力体制を築くよう取り組んでいます。	市からの書類の申請を直接持参し、担当者との意見交換や情報提供等、協力関係を築いている。運営推進会議に毎回参加してもらい、事業所の状況を報告しアドバイスを得ている。事故があった場合もその都度連携を図っている。市主催の研修会にも参加している。	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	法人内の身体拘束防止委員会で毎月身体拘束の事例を持ち帰り、ホーム内でのミーティングで事例について話し合いを持って、職員全体で身体拘束の防止への理解を深めています。	法人研修・ホーム内研修を充実し事例検討を行い、全職員で身体拘束について協議検討している。法人で身体拘束防止委員会があり、マニュアルもある。日中玄関の施錠はかけていない。外に出ていく利用者がいてもさり気なく寄り添い職員と一緒に散歩に切り替えている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日常的に虐待については、都度話し合う場を作ったり、ミーティング等で言葉遣いなどについても話し合ったりして虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人内の勉強会で権利擁護について学ぶ機会を持ち、知識を深められるようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に詳しく説明をし、同意を得ています。疑問がある場合はその都度納得出来るまで説明して、不安がないように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段から何でも言える環境作りに努めています。玄関窓口に意見箱を設けて直接言いにくいことへの対応しています。</p>	<p>利用者とはゆっくりくつろいでいる時や入浴時・ドライブに出かけたりした時などに意見を聞いている。家族とは交流会を年に2回開催し、食事会をしながら意見や要望を聞いている。電話連絡やおたより送付時に意向や思いを確認し運営に反映している。家族の宿泊希望等も快く応じている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング等で職員から意見や提案を聞く機会を設けて、それを協議し反映出来るよう勤めています。</p>	<p>職員会議やミーティングで意見や提案を聞いている。職員の意見が出やすいように休憩時間等にもコミュニケーションを大切にしている。職員の資格取得にも力を入れている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>隔月毎に提出される自己評価を通じて職員の勤務態度などを把握し、4ヶ月に1度上司評価を行い、条件の整備等の参考にしていきます。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での勉強会や、社協などが行うさまざまな外部研修にも参加しながら、職員ひとりひとりの技術・知識の向上に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人外が行う研修等を通じて、同業者との交流が図れる機会を設けています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	意向や要望等は日常生活の中で、さりげなくお聞きするようにし、ご本人の不安を解消できるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の相談時、ご家族と十分に話し合いを持ち、要望や不安なこと等をお聞きしています。またいつでも相談できるような雰囲気作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者・ご家族との面談に十分に時間を掛けて、ニーズへの対応を他のサービス利用も視野に対応できるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者のペースで出来ることはして頂き、入居者と職員は同じ目線に立って、暮らしを共にする者同士として接しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や行事等の交流時等に、共に支え合う立場である事を理解して、家族の絆を大切にしながら支えあえるように勤めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>気軽に面会や、地域の方々の慰問等を受け入れたり、外出を通して馴染みの場所や人との触れ合いが途切れないようにしています。</p>	<p>地域住民や友人・知人の来訪が多い。その日の希望を聞いたりして馴染みの理美容室や墓参りに対応している。家族や職員でできるだけ馴染みの場所へ行くように配慮している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者ひとりひとりの個性を尊重しながら、入居者同士が思いやれる環境作りに努めているよう支援しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了したご家族とも、外出時にお会いしたとき等は、気軽に声をかけたり、困ってることがないか尋ねたりしています。</p>		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望や意向を尊重しながら、それにそった生活が送れるように支援しています。困難な場合はその人の立場に立ち支援出来るよう勤めています。	日常の生活のなかで、ゆっくりくつろいでいる時間やドライブに出かけた時など、会話が多いので思いや意向などを聞いて気づきノートに記録している。意思疎通がむづかしい場合は家族や職員で話し合い利用者の思いに沿うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様やご家族・担当ケアマネを通して生活歴や健康状態、利用状況の把握に努め低ます。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察や記録などを通して、その人の生活リズムや過ごし方を把握するように努め、できる事、したい事に応じて無理の無いよう有する力を発揮して一日を過ごして頂けるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族、関係者等の方々のお話を伺い、それぞれの意見を反映させ、本人がより良い生活ができるように勤めています。	利用者個別の思いや意向を日常生活の中で汲み取り情報分析して介護計画を作成している。モニタリング時に職員からの評価を詳細に聞き取り、主治医と相談しながら見直しをしている。毎月の評価、3ヶ月毎に・更新月・状態変化時等に細かく評価し、介護計画に反映している。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録は、日々の生活や変化が把握できるように具体的に記録し、変化があった場合などは職員間で話し合い介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に対応するニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>外出・外泊・通院・買い物等利用者のニーズに対応して、既存のサービスに拘らず柔軟な対応を心掛けています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議委員や地域住民、地域消防団の方々等にグループホームのことを理解していただき、協力体制が築けるよう努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>法人内の診療所が協力病院になっており、いつでも安心して適切な医療を受けられるよう支援しています。</p>	<p>診療所の開設に伴い、協力医療機関の充実を図る事ができている。往診・訪問看護との連携も強化している。受診は殆ど職員が行っている。主治医との連携も細かくしている。毎週看護師の訪問もある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の特別養護老人ホームが隣接しているので、施設の看護師に相談したり、訪問看護師等に相談したりして、適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、職員が面会に赴き安心していただけるように配慮したり、早期退院についても病院関係者と連携しながら体制を整えるようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の意向を伺い、主治医や医療関係者との連携のもと、全員で方針の共有をしています。看取りについての指針や同意書も作成しています。	入居時や状態変化時に適宜説明している。終末期の指針もある。段階的に説明し同意を貰っている。医師の往診や訪問看護との連携により、看取りも可能となっている。看取りの経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回、消防署の協力の下、全員が応急処置や初期対応の訓練をしています。苑の看護師が緊急事態への対応の勉強会も実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を実施し、非常時の避難に対応できるようにしています。地域の会長に協力体制を築けるようお願いしています。</p>	<p>災害訓練は年2回消防署から指導を受け夜間想定訓練をしている。津波に対する避難準備もしている。隣接の特別養護老人ホームの協力体制もある。災害対策委員会を設置し定期的に避難訓練を実施している。災害時の米や水・パン・缶詰・ラーメン等の備蓄も充実している。コンロもある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴を尊重し、言葉掛けや対応等に配慮して、職員にもプライバシーを損なうような言動をしないように教育しています。	言葉かけには注意しながら、排泄時の誘導をしている。プライバシーに配慮して居室の暖簾や使用時のトイレのドアを閉めたりバスタオルを膝にかけたりして、尊厳を大切にしケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方にあった聞き方や説明の仕方を職員間で共有し、入居者が希望の表出や自己決定ができる様に支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりが主であることを念頭に置きながら、その人のペースで生活できるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装などご自分で選べる方には選んでいただき、支援が必要な方は一緒に選んだりして、その人が自己決定出来るように支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど出来ることをしていただいています。食事が楽しくなるように、個々にあった調理形態にしたりと工夫をしています。	栄養士に相談しながら、献立を作成している。つわや筍等、地元の旬の食材を使い、食事を楽しんでいる。下ごしらえを職員と一緒にしている利用者もあり、調理を楽しんでいる。行事食の食事や花見などは弁当を持参している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量のチェックを毎日し、把握に努めています。バランスについては野菜を多くし、栄養面を考慮しながら献立を工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後にご自分で可能な方には声かけし、ご自分で出来ない方にはその方の力に応じて口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ひとりひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導でトイレにて排泄が出来るようにしています。	排泄パターンを把握し声かけをしたりしぐさや表情で早めに察知してトイレへの誘導をしている。オムツから改善された利用者もいる。乳製品を取り入れたり、食生活にも注意して支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品を日々の食事に組み込んだりして便秘解消に工夫を凝らしています。薬による排便を実施せざるを得ない方もいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態を把握しながら、入浴の意向を聞き対応しています。気分の乗らない方には時間や日をずらす等、無理強いせずに声かけに工夫しています。	入浴は週3回を基本にしているが、希望があればいつでも対応している。入浴を嫌がる利用者には時間や職員を変えて無理強いしないようにしている。入浴剤を使用したり、お湯は個々に入れ替えを行い、清潔な環境で楽しく入浴ができている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ひとりひとりの生活リズムを大事にし、自由に休養したりホールでテレビを観たりと安心した生活が送れるように支援しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用等については、薬箱のすぐ近くにいつでも見れるように処方箋を置いています。症状に変化があった場合は訪問看護師等に連絡するよう体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	ひとりひとりの得意な事、出来る事をして頂く機会を作り楽しみや張り合いを持って生活されるように支援しています。日々の会話の中で好きだったことなどをさりげなく聞いたりして、それを支援の中で活かせるようにしています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	散歩やドライブ、隣接している苑での慰問等、外出を支援しています。ドライブ等は行きたい所を聞いたり、弁当持参で出掛けたりすることもあります。	天気の良い日は、散歩を行い近所を歩いたり車椅子でも出かけている。裏庭があり散歩コースもある。気軽に外出できる環境となっており、職員も一緒に出かけたり利用者也安心して外出している。ドライブで馴染みの場所に行ったり花見など弁当を持参して楽しんでいる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	普段は全員お金は事務所で管理しており、買い物等のときにお金をお渡しして、ご自分でお支払いいただいたりして、お金を使う喜びを感じて頂けるように支援しています。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望があれば、何時でもできるようにしています。現在手紙を書く方がおらず手紙の方は実施していませんが、これから手紙を書く機会を増やしていきたいと思っています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わってもらふ為、季節の花を飾ったり、時期にあった飾りつけ等を工夫しながらしています。音や光なども刺激が強くないように工夫しています。	共用スペースは天井が高く広い。日よけをしたり、温度・湿度など空調の調整を行い快適な環境となっている。空気清浄機と加湿器の一体型を設置し、インフルエンザの発生もなく過ごしている。季節の花や飾り付けを行い、居心地よい暮らしを支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士でソファーに座り談笑したり、落ち着かれる場所にいつて座ったりできる様に工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等を持ち込んでいただき、使い慣れたもので居心地良く生活ができる様にしています。部屋の模様替えの希望等があれば模様替えを支援しています。	居室は個性的で落ち着けるように整理されている。自宅で馴染みのあるテレビや筆筒・位牌・家族写真等、本人好みの配置に模様替えして、安心してすごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能に応じ、ベッドの高さを調節したり、タンスの向きを変えたりして工夫しています。トイレや浴室にも手摺りをつけ、必要に応じて専門家と相談して調整しています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない